

寄付や社会的投資が進む社会の実現に向けて

会員ギヤザリング

JFRA 10th Anniversary

**47都道府県から580名の設立発起人とともに設立された
日本ファンドレイジング協会は、2019年2月に、10周年を迎えます。**

300名の方がご参加くださった設立シンポジウム。
あれから、10年がたとうとしています。

その間、会員からたくさんの励まし、厳しいご意見をいただき、
その一つひとつが大きな力となり、さらに頑張る糧となりました。

「本当に、ありがとうございます。」

これからもたくさんの「声」を届けてください。

一緒に、寄付や社会的投資が進む社会を実現するための一歩を、
今日、進めましょう。

10周年事業では・・・



1) ステークホルダーからの「声」を聞きます

会員、スタッフ、理事などと一緒に、これからの10年を考え、
「10周年宣言」にまとめます



2) 「10周年ファウンダー」を募集します

新たな日本ファンドレイジング協会の創設を応援して下さる

法人・個人を募集します



3) 記念パーティーを開催します

10年を振り返るだけでなく、対話を通じてまとめる

「10周年宣言」の発表などを行います

(2019年2月予定)



そのほかにも・・・
トップランナーインタビュー
オープンセミナー@東京・大阪

ワークシヨツプ

寄付や社会的投資が進む社会の実現を加速させるために、
事業戦略の見直しを行う。
そのために、意見、アイデア出しを行い、
さらなる発想に広げていく。

ワークショップでやること

- 1) 事業説明
- 2) 2030年の社会予測
- 3) 個人ワーク
- 4) ワールドカフェ
- 5) 全体共有

ファンドレイジング力向上×寄付市場の形成と醸成

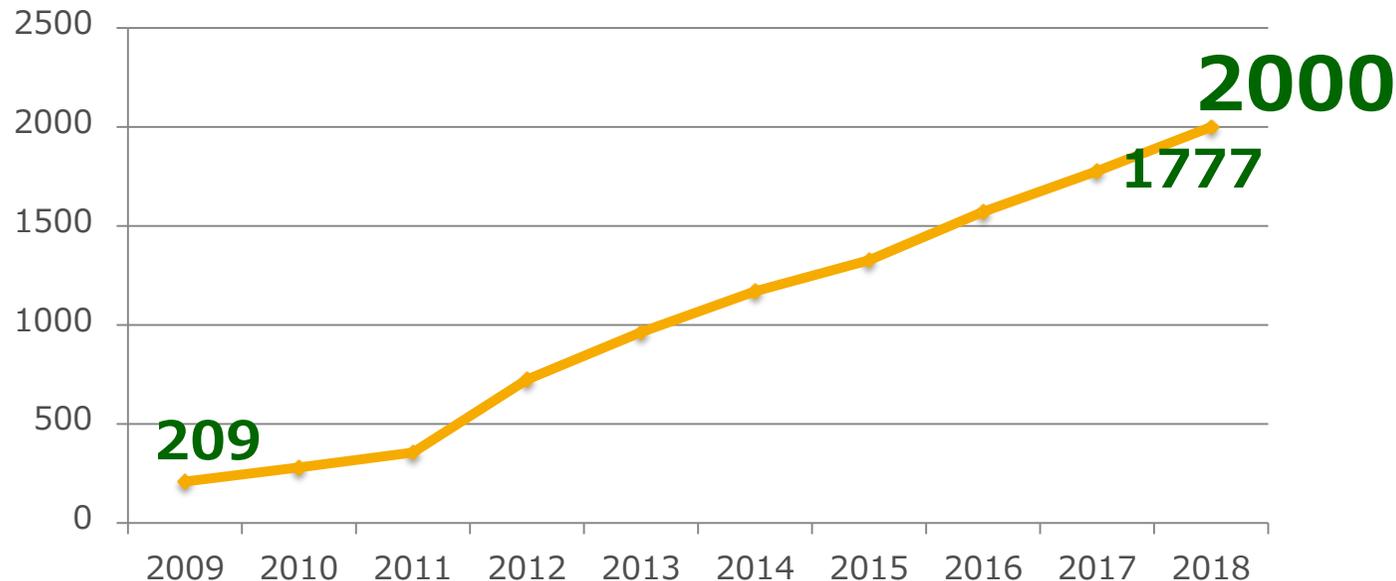


数字で見る日本ファンドレイジング協会

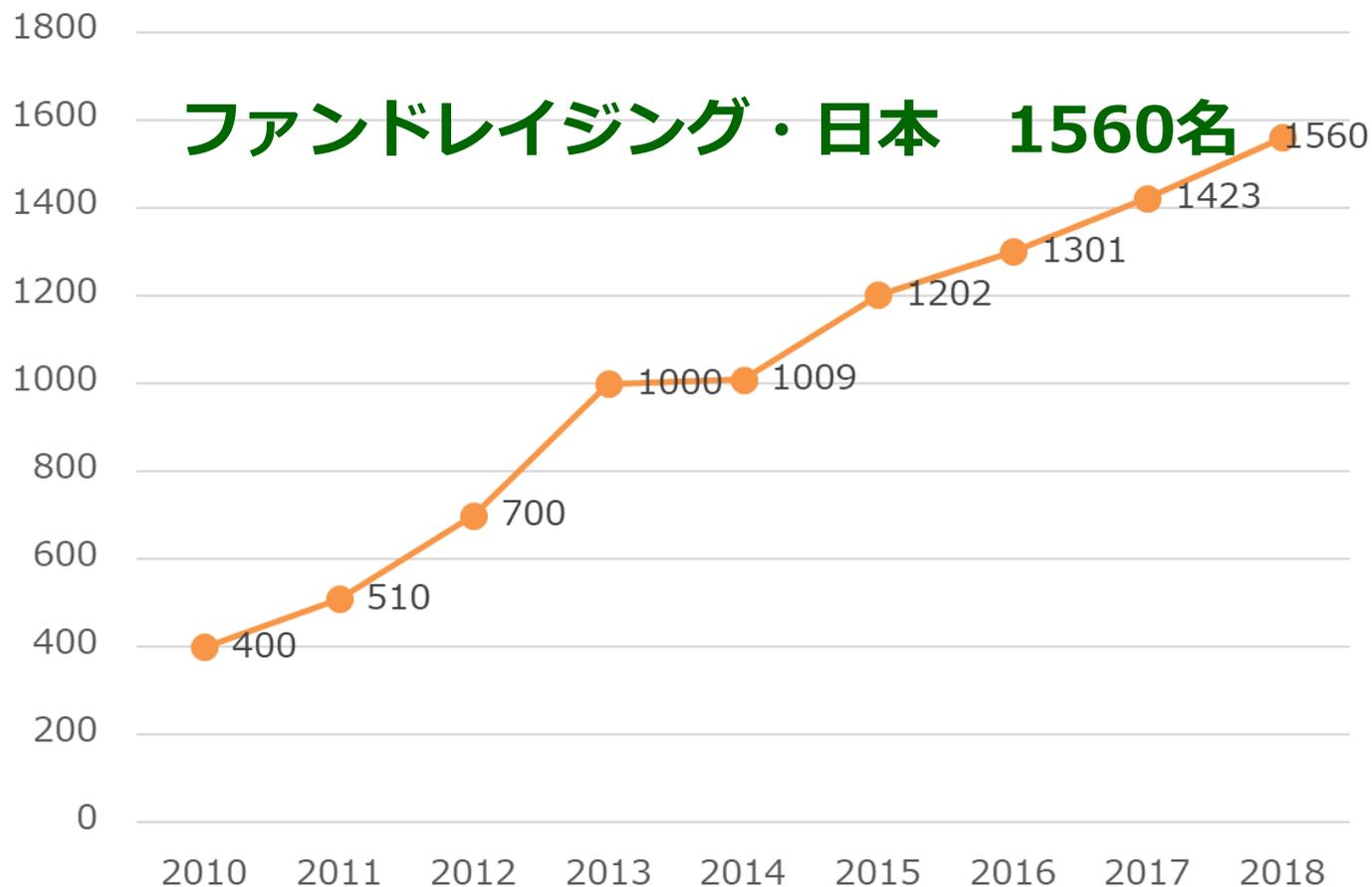
会員数は、増加。

ファンドレイザー資格保有者は、999名。

地域チャプター6、テーマチャプター2



参加者増。ファンドレイザー資格保有者の参加率が過去最高（前年比127%）



1. 社会のお金の流れをデザインする 力のあるプロフェッショナルを増やす

1-1. 認定・准認定ファンドレイザーを増やす

1-2. 成功事例を可視化し、日本にポジティブな
空気を醸成する

1-3. 地域レベルで専門家がネットワーク化する
場を全国につくる

1-4. 社会的インパクト評価の主流化の実現

2. 新たな大きな社会のお金の流れを 創出する

2-1. 資金循環に必要な政策制度を変える

2-2. 資金・情報・機会を提供・仲介する機能を
強化する

①資金を仲介する機能強化

②資金を提供する側の機能強化

③情報を提供する機能強化

2-3. 資金循環のロールモデルを創出する

3. 寄付、社会的投資への理解を促進する（「空気」の醸成）

3-1. 寄付・社会的投資教育の全国化

3-2. 寄付へのポジティブな空気の醸成

3-3. 金融機関等接点面の専門性向上

4. 他のプレイヤーの重要な動きを支援する

4-1. コミュニティ全体のスケールアウト

4-2. スポーツイベントのチャリティ化

4-3. 企業の新規サービスの参入・拡大支援

4-4. ソリューションプロバイダーの可視化・機会提供

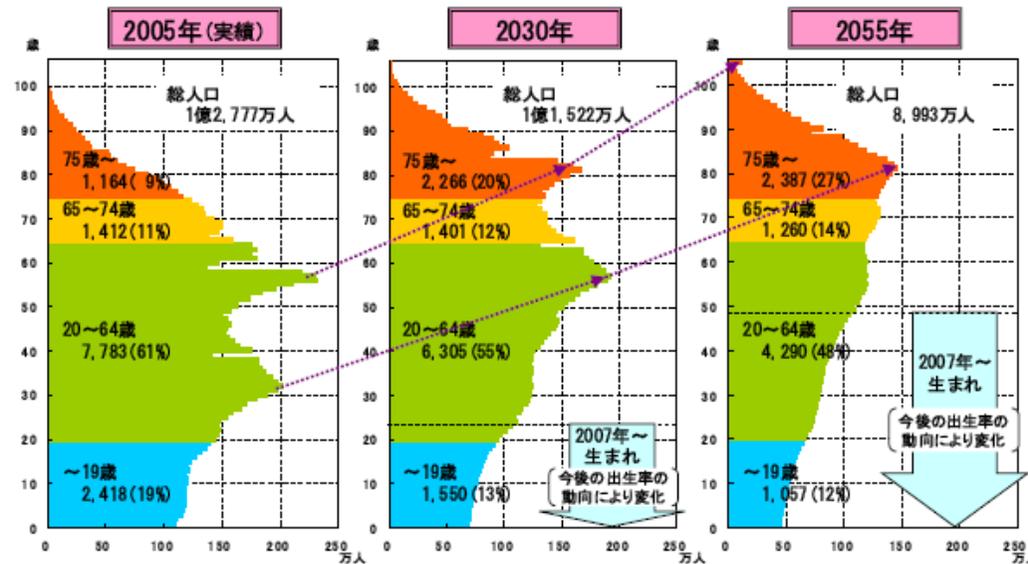
2030年に向けた、社会の変化

1.人口

1-1 日本の人口が2005年より1000万人減少し、5人に1人が75歳以上となる超高齢社会になる

1-2 日本の人口が2006年のピーク時から1000万人減少する

1-3 日本の生産年齢人口が7000万人を下回る



データ：内閣府HPより「人口ピラミッドの変化（2005，2030，2055）」

【参考】

2030年展望と改革タスクフォース報告書（内閣府）http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2017/0125/shiryo_04-2.pdf
未来年表/2030年を参考（博報堂生活総研）https://seikatsusoken.jp/futuretimeline/search_year.php?year=2030

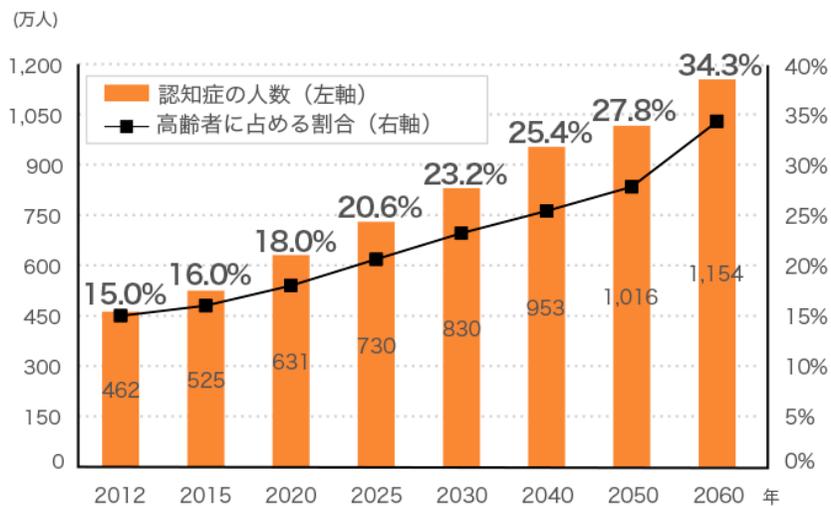
2030年に向けた、社会の変化

2. 病気、地球環境

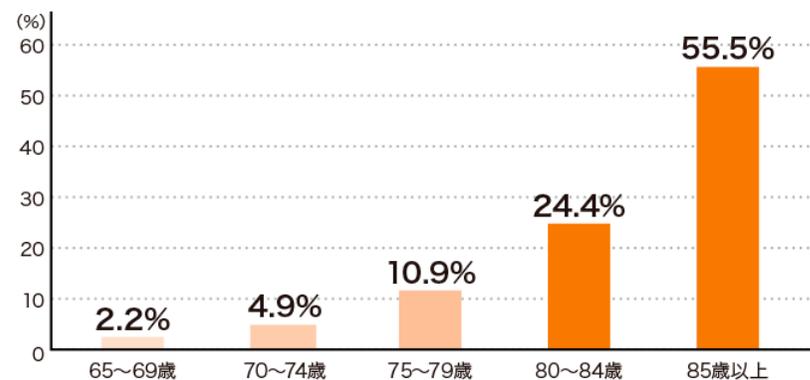
2-1 65歳以上の5人に1人が認知症

2-2 地球温暖化とヒートアイランド現象の「双子の温暖化」で、東京の夕方6時の気温が43度を超える

日本における認知症の人の将来推計



認知症にかかっている方の割合 (年齢別)



データ：三菱UFJ信託銀行HP「認知症の現状と将来推計」

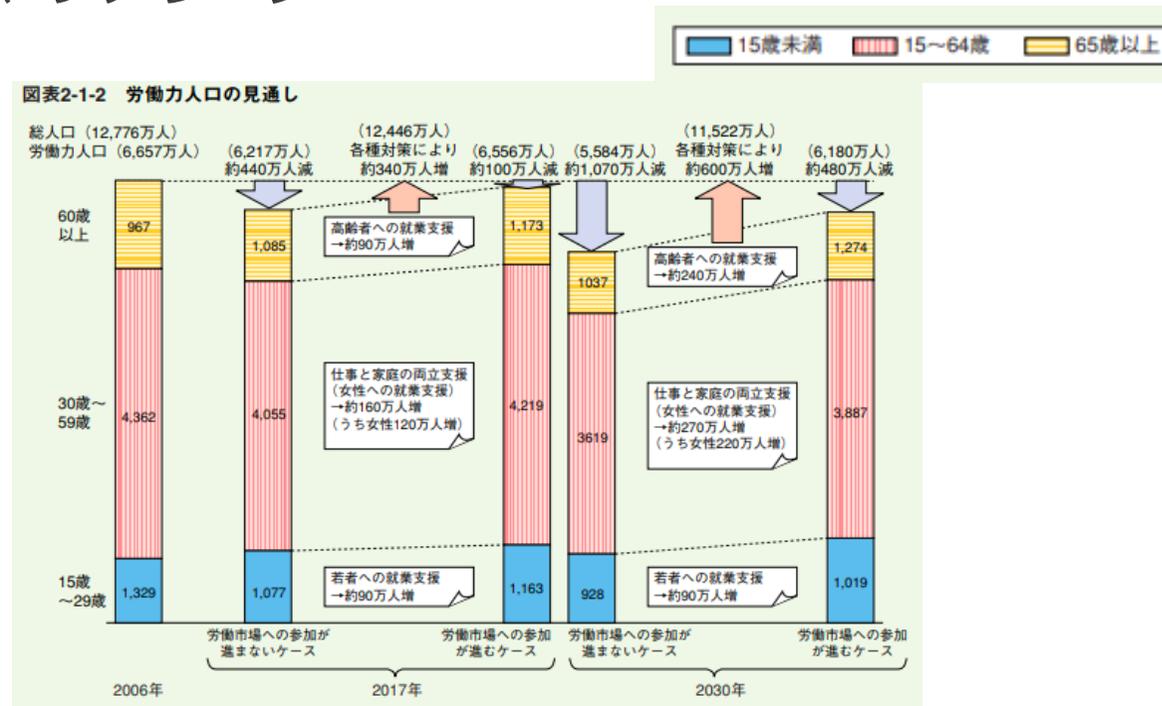
2030年に向けた、社会の変化

3. 経済、働き方

3-1 第4次産業革命を巡るグローバル競争の激化（AI、ロボット、ビッグデータ）

3-2 高齢者の就業支援が拡大

3-3 QOL向上、ケアワーク



データ：厚生労働白書

ワークショップ

寄付、社会的投資が進む社会の実現を加速させるために
テーマに沿って、1) 自分ができること、2) JFRAと一緒に、
3) 社会に期待したいことを考えてみよう

	プロフェッショナルを増やす	お金の流れを創出する	理解を促進する（空気醸成）	他プレイヤーの支援、他テーマ
1) 自分ができること				
2) JFRAと一緒に実現したいこと				
3) 社会に期待したいこと				

ワークショップ

寄付、社会的投資が進む社会の実現を加速させるためのアイデアを付箋に書こう！

テーマ

- ①プロフェッショナルを増やす
- ②お金の流れを創出する
- ③理解を促進する（空気醸成）
- ④他プレイヤーの支援、他テーマ

考える軸

- 1) 自分ができること
- 2) JFRAと一緒に実現したいこと
- 3) 社会に期待したいこと

ワールドカフェ

- 1) 話をよく聞く、対話を楽しむ
- 2) 否定せず、受け止める
- 3) テーマにフォーカスする

